

令和 5 年度
水産資源調査・評価推進委託事業のうち国際協調型調査事業のうち鯨資源調査事業
(夏季北太平洋鯨類資源調査) 成果報告書

【受託者】

住 所 東京都中央区豊海町 4 番 5 号

氏 名 一般財団法人 日本鯨類研究所

1. 目的

本調査は、北太平洋におけるミンククジラ、イワシクジラ、ニタリクジラ、ナガスクジラをはじめ、シロナガスクジラやセミクジラなどの希少種を含むヒゲクジラ類を中心とした鯨類の分布状況の把握、並びにその資源量推定のための目視情報の収集を目的とした。

2. 調査体制

本調査は、第七開洋丸(649 トン、海洋エンジニアリング株式会社所有)を用船して実施した。

3. 調査期間

令和 5 年 7 月 29 日 久里浜出港

令和 5 年 9 月 1 日 塩釜入港

4. 調査海域

調査海域は、日本の排他的経済水域における北緯 20～30 度、東経 140 度～180 度における範囲とした。

5. 調査結果 (表 1)

調査海域における探索努力量は 2,904.2 哩であった。航海では、合計 32 群 55 頭の鯨類が発見された。

自然標識の撮影はシャチ 2 頭の自然標識写真を撮影した。

6. 調査記録等の保管

全ての記録類は調査終了後、一般財団法人日本鯨類研究所資源管理部門が保管する。本調査の詳細な結果は、2024 年に開催される IWC 科学委員会等において発表を予定している。